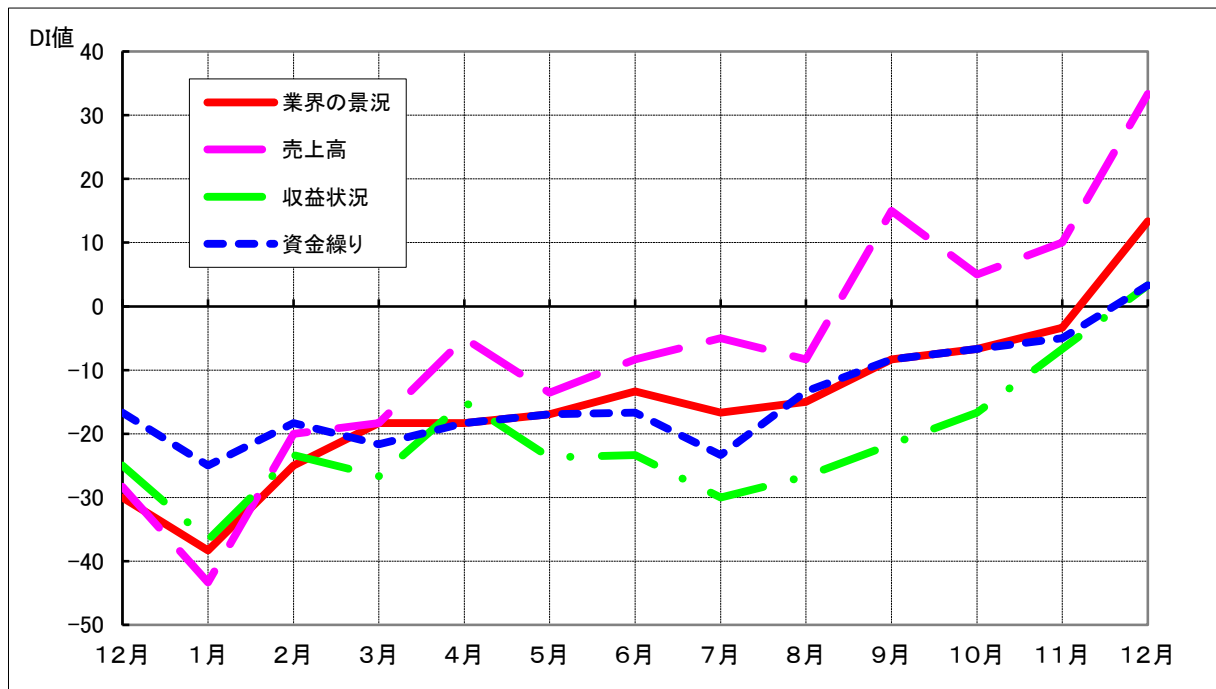


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成24年12月～平成25年12月

単位:ポイント



	H24	H25	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業界の景況	-30.0	-38.3	-25.0	-18.3	-18.3	-18.3	-16.9	-13.3	-16.7	-15.0	-8.3	-6.7	-3.3	13.3	
売上高	-28.3	-43.3	-20.0	-18.3	-5.0	-13.6	-8.3	-5.0	-8.3	15.0	5.0	10.0	33.3		
収益状況	-25.0	-36.7	-23.3	-26.7	-15.0	-23.7	-23.3	-30.0	-26.7	-21.7	-16.7	-6.7	3.3		
資金繰り	-16.7	-25.0	-18.3	-21.7	-18.3	-16.9	-16.7	-23.3	-13.3	-8.3	-6.7	-5.0	3.3		

○12月のDI値は前月と比べ、全項目が改善した。「業界の景況」DI値は16.6ポイント、「売上高」DI値は23.3ポイント、「収益状況」DI値は10ポイント、「資金繰り」DI値は8.3ポイントそれぞれ改善した。前年同月と比べると、こちらもすべての項目が改善した。「業界の景況」DI値は43.3ポイント、「売上高」DI値は61.6ポイント、「収益状況」DI値は28.3ポイント、「資金繰り」DI値は20ポイントそれぞれ改善した。12月は上記全項目でDI値がプラスとなった。売上高DI値が大幅に改善したことや収益状況及び資金繰りDI値も3.3ポイントとプラスに転じたことから、全体の景況は徐々に上向きつつある。しかしながら、企業間格差があり実感できる景気回復には至っていないという報告や消費税増税後の反動を懸念する報告等もあるため、今後の動向に注意を払う必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、建具製造業から、年末まで稼働した組合員が多かったようであるとの報告が、機械器具製造業からは、消費税増税前の駆け込み需要とみられる受注が多く、増税後の落ち込みが心配という報告が出ている。非製造業では、旅館業から、年末年始の曜日配列の関係で良好だったとの報告が、砂利採取業からは、一部の製品について出荷の増加に生産が間に合わないという組合員が出て来ているとの報告が来ている。